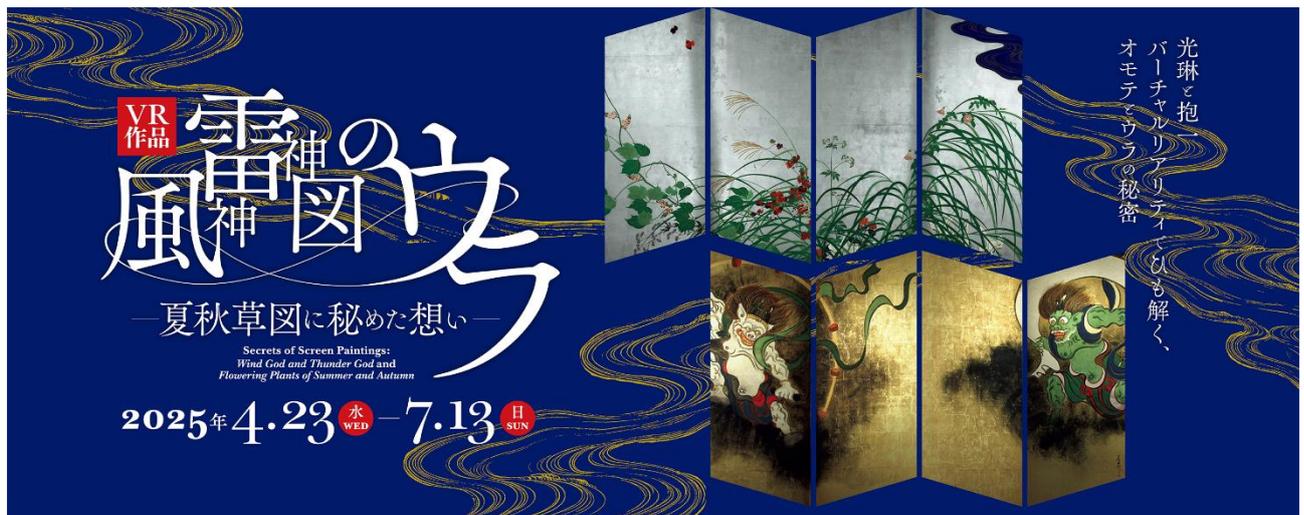


東京国立博物館と TOPPAN、VR 作品
『風神雷神図のウラ - 夏秋草図に秘めた想い -』を再上演
特別展「葛屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」の開催に合わせて、
同時期に活躍した絵師・酒井抱一の作品を上演

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館(所在地:東京都台東区、館長:藤原 誠、以下 東京国立博物館)、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター(所在地:東京都台東区、センター長:大美 慶昌、以下 文化財活用センター)と TOPPAN ホールディングス株式会社のグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大矢 諭、以下 TOPPAN)は、VR 作品『風神雷神図のウラ - 夏秋草図に秘めた想い -』を東京国立博物館 東洋館内「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」にて、2025年4月23日(水)から7月13日(日)まで再上演します。

本 VR 作品は、東京国立博物館 平成館で開催される特別展「葛屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」(会期:2025年4月22日(火)～6月15日(日))に合わせて、葛屋重三郎と同時期に活躍した絵師・酒井抱一の作品を扱ったものとして、上演することになりました。



VR 作品『風神雷神図のウラ - 夏秋草図に秘めた想い -』

監修:東京国立博物館 制作:TOPPAN 株式会社

本 VR 作品では、尾形光琳筆の重要文化財「風神雷神図屏風」と、その裏に描かれた酒井抱一筆の重要文化財「夏秋草図屏風」のオモテとウラの関係性に隠された秘密を探ります。

江戸時代後期の絵師、酒井抱一は尾形光琳を自らの師として仰ぎ、長年に渡って憧れを抱き続けましたが、61歳頃に「風神雷神図屏風」の裏に作品を描くよう依頼を受けます。本 VR 作品では、自然に翻弄され、雨に濡れ風に揺れる繊細な草花を描いた「夏秋草図屏風」に託した抱一の想いをひも解き、屏風のオモテとウラの関係に隠された秘密に迫ります。制作にあたっては、約30億画素の高精細画像に質感要素データを取り込むことで、文化財の質感を忠実に再現。ろうそくの光で照らした場合や、月明かりに照らされた場合の見え方など、実際の文化財では不可能な条件下での鑑賞を、より正確にシミュレーションできます。

■ VR 作品『風神雷神図のウラ ー夏秋草図に秘めた想いー』のみどころ

・表裏一体となった屏風の往時の姿を再現

1974年から作品保護の観点で表裏を分けて保管されている屏風を、バーチャルリアリティにより表裏一体の往時の姿で再現しました。

・屏風を透かし表裏の関係を表現

表面に描かれた「風神雷神図屏風」と裏面に描かれた「夏秋草図屏風」を透かすことで、表裏の絵の関係を探ります。

・光の変化に応じた屏風の見え方を表現

高精細デジタルアーカイブを実施し、屏風を拡大し鑑賞することが可能となりました。また、TOPPANのVR技術により、光の変化に応じた屏風の見え方を表現しています。



(左) 屏風を透かし表裏の関係を表現、(右) 草花ひとつひとつの細かな色使いを大画面で鑑賞



VRが可能にする蠟燭の灯による金箔の輝き再現

VR 作品『風神雷神図のウラ ー夏秋草図に秘めた想いー』

監修:東京国立博物館 制作:TOPPAN 株式会社

■ 国際博物館の日 オリジナルステッカープレゼント

2025年5月18日(日)「国際博物館の日」に本VR作品を鑑賞いただいた方全員に、上演作品をイメージした、ミュージアムシアター限定オリジナルステッカーをプレゼントします。



※ステッカー画像はイメージです。

※ステッカーは上演終了後にお渡しいたします。

■ VR 作品『風神雷神図のウラ -夏秋草図に秘めた想い-』上演案内

場所	東京国立博物館東洋館地下1階 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター
期間	2025年4月23日(水)～7月13日(日)
上演日時	水・木・金 12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 土・日・祝・休日 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 *所要時間約35分、各回定員90名 *上演スケジュール・定員は都合により変更になる場合がございます。
鑑賞料金	高校生以上:600円 中学生・小学生:300円 未就学児、障がい者とその介護者各1名:無料 *チケットは、シアター前券売機で購入してください。 *開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。 *高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途博物館入館料が必要です。
シアターウェブサイト	https://www.toppan-vr.jp/mt/

■ 「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」について

「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」は、VRによる文化財の新しい鑑賞方法を体験できる施設です。「バーチャルリアリティで時空を超える」をコンセプトに、東京国立博物館の収蔵品を中心とする文化財デジタルアーカイブをVR技術で可視化。文化財の姿をあざやかに映し出す超高精細4Kプロジェクタ、300インチの迫力ある大きなスクリーン、専属のナビゲーターのライブ上演により、コンピュータが生成する三次元空間の中にいるかのような感覚で文化財を鑑賞できます。文化財の往時の姿の再現や肉眼では鑑賞することが難しい細かなディテールの拡大など、デジタルならではの文化財との新たな出会いと楽しみ方を提供する空間です。

・シアターウェブサイト: <https://www.toppan-vr.jp/mt/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上